

# アジャイルプロジェクト推進

## コンサルティング・コーチング支援



### 連絡先

アジャイルプロジェクト推進 コンサルティング・コーチング支援の詳細については、以下までお問い合わせください。

日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社

E-mail: JP.CandSI@tcs.com

### タタコンサルタンシーサービス (TCS) について

タタコンサルタンシーサービス (TCS) は、世界中の大手企業における変革の道のりを50年以上にわたり支援している、ITサービス、コンサルティングおよびビジネスソリューション企業です。コンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用した、ビジネス、テクノロジー、エンジニアリングのサービスやソリューションを総合的に展開しています。これらをTCS独自のソフトウェア開発基準である「ロケーションインディペンデント・アジャイル・デリバリーモデル (Location Independent Agile™ delivery model)」を通じ、地理的な制約にとらわれることなく提供しています。

TCSは、世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタ・グループの一員で、最高水準のトレーニングを受けた60万8,000人を超える人材を擁し、世界55カ国で事業を展開しています。2023年3月31日を末日とする会計年度の売上高は279億米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、MSCIグローバル・サステナビリティ・インデックスやFTS4Eグッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。TCSの詳細は、[www.tcs.com](http://www.tcs.com)をご覧ください。



# ビジネス環境の変化に対応する組織・チーム

現在、製品開発においては、持続的な改善が注目を集めています。これに伴い、従来の中央集権的で統一的な指示に基づく組織から、権限を分散し個々の判断を重視する組織への変革が求められています。アジャイルプロジェクトを成功させるためには、アジャイルなマインドセットを持った個々のメンバーが協力し、適切にツールやプロセスを活用することが不可欠です。

## ■ アジャイルを成功に導く鍵

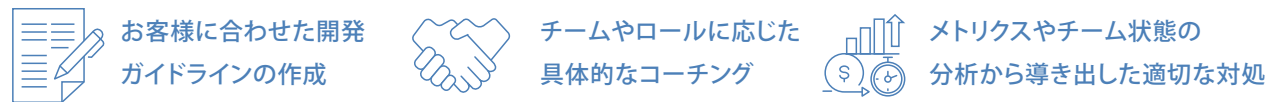
こんなお悩みありませんか

アジャイルを始めたいが、うまく導入できるか不安がある

エンジニアはそろっているがアジャイル方式での役割を果たせるスキルが不足している

アジャイルを始めたが十分な価値を出せていないと感じる

## 日本タタ・コンサルタンシー・サービスのアプローチ



### 目指す姿

導入、推進  
プロセス



個人、チームの  
スキルアップ

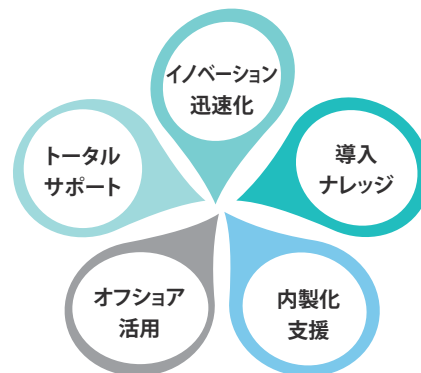


プロセスやスキルと関係性を改善

- 状況を捉えて情報を共有する透明性の高い自律型組織
- ユーザー価値を主軸とした判断や行動ができるチーム
- 企業文化とビジョンに沿って最適化されたルールやガイドライン
- 相互の関係を尊重しながら意見の交換が促進できるツール

## ■ サービスの特徴・強み

- 導入から大規模適用に至るまで成熟度に合わせた支援
- クラウド技術やオートメーションなどと組み合わせることが可能
- 弊社が持つ最先端のIT環境を迅速に提供
- アジャイル特有のワンチーム伴走型コンサルティングサービスを提供



## ■ 日本TCSが提供するアジャイルコンサルティング・コーチング

### 1 プロジェクト PMO



アジャイルプロジェクト全体を俯瞰し、ビジネスオーナーをはじめとしたプロジェクトにおけるステークホルダーとの調整を担当します。

### 2 BA/プロダクトオーナー支援/ スクラムマスター



プロジェクト遂行に必須となる高度なロールを、深い知識を保有するスペシャリストが専任します。

### 3 アジャイルコーチ



複数または単一のチーム/組織に対してアジャイルのトレーニングや、各ロールのコーチング、組織立ち上げや運営を推進します。

## ■ TCSの実績

業界	お客さまの課題	対応と効果
小売業	拡大する販売チャネルや店舗従業員の増加に伴い、従業員用の <b>モバイルアプリ</b> を開発してデジタルトランスフォーメーションを短期で遂行したい。	計画から5か月、開発開始から3か月で最初のバージョンをリリースし、全店舗で運用を開始。以降4半期に1度のペースで機能追加と従業員の意見を取り入れながら改善をスピーディーに提供。 <b>早期に業務効率向上</b> が得られたことに高い評価を受ける。
小売業	組織全体のデジタル力強化計画のひとつとしてアジャイル導入を検討していたが、社内に開発・推進できる <b>人材が不足</b> していた。	アジャイル未経験の状態からトレーニングや開発ガイドラインの作成を行い、トライアルプロジェクトを始動。推進チームを立ち上げて成功体験のナレッジをシェアし、内製化を進めた。 <b>TCSのオフショアを活用し、自社開発</b> のさらなるスピードアップを図っている。
製薬業	グローバルシステムと連携する国内用システムの保守において、頻繁に変更される連携先への追従に苦心し <b>業務負荷</b> が高まっていた。	ツール導入により、 <b>開発環境のプロセスを自動化</b> し、効率を高めながら、タスクをチケット駆動に変更することでチームを小規模化し <b>管理コストの削減</b> に成功。
保険業	従来のプロセスにより、社内システムの開発には高額な費用がかけられ、 <b>開発期間も長期</b> にわたっていた。しかし、利用部門からは期待した成果を得られなかったなど不満の声が上がっていた。	分析によるシステムの分割、機能の構造化を行い、小さな単位で開発を実施できるようにした。またオーナー部門とワンチームでプロジェクトを形成することで利用者の意見を素早く取り入れながら無駄のないシステムを構築。 <b>アジャイルプロセスを適用</b> したことで <b>今までにない投資対効果</b> を得たと評価された。